



精福会だより

公益社団法人 大分県精神保健福祉会
〒870-0938 大分市今津留 1-18-28
(TEL) 097-551-2080 (FAX) 097-551-2091

平成24年度 定例総会

5 月 17 日(木)事務局において、公益社団法人移行後の最初の定例総会が開催され「平成 23 年度事業報告、収支決算・監査報告」および「平成 24 年度事業計画、収支予算」等について報告・審議され、原案通り承認されました。

〔昨年度の主な活動〕

・「心の病を考える地域学習会」では、別府、大分、中津、玖珠、佐伯、竹田の 6 会場で約 880 名の多くの家族、当事者、行政、地域の皆さんに参加していただき、どの会場でも充実した学習会を行うことができました。

・7/23 開催の「第 5 回 家族相談研修会」では、「みんなねっと」の吉田かおり事務局長を講師に迎え、「精神障害者のための福祉制度」の講話、並びに「家族相談の実際の進め方」について、事例検討の演習を中心に学習しました。

・その他「第 19 回 福祉サービス指導員研修会」、「九州ブロック沖縄大会」、「九州地区バレーボール大会」、「どげえ会親善バレーボール大会」、「親善ソフトボール大会」など、予定どおり行われました。

・「公益法人への移行」については、臨時総会を開催して定款変更等の必要な決議を行い、「大分県公益認定審査会」の認定を受け、本年 4 月 1 日に移行登記を完了しました。今後は、広く地域や県民のための公益目的事業が活動の中心になることが期待されています。

〔今年度の主要行事予定〕

①研修会・大会

- ・心の病を考える地域学習会
- ・第 6 回家族相談研修会 (7/21(土) 総合福祉会館)
- ・第 5 回みんなねっと茨城大会(11/21・22 つくば国際会議場)
- ・九州ブロック大会(2/14・15 宮崎市サンホテルフェニックス)
- ・福祉サービス指導員研修会 (H25 年 3/1・2 豊泉荘)

②どげえ会・スポーツ大会

- ・九州地区バレーボール大会 (4/14 沖縄県体育館)
昨年度優勝の「臼津オレンジデイズ」出場
- ・どげえ会親善バレーボール大会 (6/9 総合福祉会館)
- ・どげえ会親善ソフトボール大会 (10/6 大洲運動公園)

③社会参加推進

- ・秋の交歓会・ふれあい広場 (10/13・14 平和市民公園)
- ・ときめき作品店 (11/29～12/3 大分市アートプラザ)
- ・障害者週間・福祉大会、ときめき音楽祭
(12/6 エイトピアおおの)



心の病を考える地域学習会

今年度の「心の病を考える地域学習会」の実施概要が次のように決まりました。各ブロックの家族会を中心に内容を充実させ、地域の多くの皆さん

に参加していただき、精神保健福祉の普及啓発と向上に寄与していきたいと思ひます。

日程・内容が決まりましたら HP でもお知らせいたします。

- ◎中央ブロック (9 月 国 東)
- ◎大分ブロック (10 月 大 分)
- ◎県北ブロック (11 月 豊後高田)
- ◎久大ブロック (12 月 日 田)
- ◎豊肥ブロック (12 月 竹 田)
- ◎県南ブロック (1 月 津久見)

(第6回)家族相談研修会のご案内

今年度も昨年に続き、県による「家族支援事業」として第 6 回「家族相談研修会」を開催します。

午前中の講演では、「精神障害者の人権と偏見について」、午後からは、グループワークや事例検討なども含めて「家族相談の実際の進め方」について学習したいと思います。多くの皆様の参加をお待ちしています。

- ◎日 時: 平成 24 年 7 月 21 日(土) 10:00～16:00
- ◎会 場: 大分県総合社会福祉会館(4 階大ホール)
- ◎対 象: 家族相談に関心のある家族、施設指導員、行政、福祉関係者、ボランティアの方など、どなたでも参加できます。

〔研修スケジュール〕

〈1〉10:00～10:30 開講式

- ・主催者挨拶
- ・来賓挨拶 (大分県障害福祉課長)

〈2〉10:40～12:00

〔講演〕「精神障害者の人権と偏見について」
(講師) 大分市教育委員会 河野正行 氏

〈3〉13:00～15:50

—「家族相談の意義とあり方」—

- 〔講師〕みんなねっと相談指導員 高村裕子 氏
- (1)「家族相談の意義と実際の進め方」について
- (2) 相談演習と事例検討 (グループワーク)



◎障害者自立支援法の改正は「障害者総合支援法」として国会で可決・成立、来年 4 月より施行されることになった。
◎当会の HP【大分県精神保健福祉会】で、各研修会や活動内容、家族会・施設・GH 等の一覧が見られます。

第19回 福祉サービス指導員研修会

恒例の「福祉サービス指導員研修会」は3月2日(金)～3日(土)、豊泉荘で約100名が参加して開催されました。

1日目午前中の基調講演では、大分県こころとからだの相談支援センター土山幸之助所長より「精神科の病気について」のテーマで、参加者からの質問にも答えていただきながら、具体的で大変分かりやすい講演をしていただきました。

午後からは6つの部会に分かれ、それぞれ「現状の問題点と今後のあり方」のテーマで情報交換と交流を行いました。

2日目午前中は、前日の部会別研修の発表、全体討議を行い、午後からは「大分大学福祉フォーラム」に合流しました。



基調講演



輝くピアホームによる
空手の演武

第15回大分大学福祉フォーラム(3/2)

～福祉施設と地域とのかかわりを考える～

〔報告1〕「自分自身で、共に～当事者研究の実践から学ぶ」

— 社会福祉法人浦河べてるの家(北海道浦河町)

〔報告2〕「こころの地域づくり」

— 社会福祉法人こころん(福島県泉崎村)

〔報告3〕「福祉のまちおこし研究報告」

— 大分大学福祉科学センター 教授 棕野美智子氏

精神医療改革の本格的な始まりか？

◎ 国内の精神疾患による入院患者は約33万人(2008年)で、約22万人が1年以上の長期入院者。10年以上の入院も7万人を超える。厚生労働省は、入院治療の必要性がない患者を早期に退院させ、地域で暮らせるようにするため、精神科への入院を原則1年以内とする方針を決めた。

入院期間を短縮させるため、発症間隙で症状が激しい患者に対応する医師の配置基準を、一般病院並みに増やす(入院3ヶ月未満の精神科特例の廃止)。退院支援に当たる精神保健福祉士や作業療法士などの専門職も配置する。

また、家族の負担が大きい「保護者制度」の見直しの一環として、「医療保護入院」時に義務付けられている家族の同意を不要とする方針も決めた。

◎【大分県の動き】精神疾患の患者数が現行の「4大疾病」よりも多くなっている状況を踏まえ、県の策定する「医療計画」に精神疾患を追加することになり、7月3日に「第1回大分県精神疾患医療連携協議会」(藤波会長委員)が開かれた。

【みんなねっと総会開催】

今年度のみんなねっと(公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会)の定期総会が6月8日(金)東京都障害者福祉会館で開催され、「平成23年度活動報告・収支決算」および「平成24年度活動方針・収支予算」などが承認されました。

この中で、次のようなことが確認、報告されました。

- ◎ 組織強化・拡大に向けた取り組みとして、啓発・広報と賛助会員の募集の意義を持つ機関誌「月間みんなねっと」の普及を各県連と連携して図っていく。
- ◎ 「保護者制度」「家族同意による入院制度」について、抜本的な改革を求めていく。
- ◎ 精神医療改革に関して、「こころの健康を守り推進する基本法」の制定を求めることを含め、精神障害に対する国会議員の理解を深めるための啓発活動を行う。
- ◎ 第5回全国大会は11月21～22、茨城県つくば市で「私たちが拓く扉！ 障害者元年」のテーマで開催される。
- ◎ 東日本大震災の義援金は、総計2296万円集まり、被災地の岩手、宮城、福島各県連に735万円、茨城、千葉、長野各県連に20万円を配分送金した。

大分県連の義援金は
合計 550,855円でした。
改めて皆様のご協力に
深く感謝申し上げます。



平成24年度大分どげえ会 親善バレーボール大会

今年度の大分どげえ会主催のバレーボール大会が6/9(土)総合福祉会館体育館で開催され、多くの声援の中、熱戦が繰り広げられ、臼津オレンジデイズが優勝。熊本・沖縄大会に続く来春の九州地区大会の出場権を獲得しました。

なお、今大会より「優勝カップ」(写真)を設けました。

(優勝) 臼津オレンジデイズ
(準優勝) 豊肥カブス
(3位) 中津はもず
府内ストーンズ
佐伯マンボーズ



【あとがき】 梅雨前線の影響で日田・中津地方に大きな被害が発生しました。お見舞い申し上げます。梅雨明けも間近です。体調管理に気をつけて元気に過ごしましょう！